

かわせみ(日高市の鳥)

August 2010

14号

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS



CONTENTS

- 2P 診療科のご紹介：消化器外科 腫瘍内科
- 3P 抗がん剤の副作用とその対策…第1回：薬剤部
- 4P フィッシュ哲学で生き活きた職場を：看護部
- 6P 中央放射線部からお知らせ
～画像誘導放射線治療について～：中央放射線部
- 7P 検査項目について：中央検査部
- 8P 病院の対策シリーズ
医療機器に対する携帯電話の影響：MEサービス部
- 9P 医療費と介護サービス利用費の負担が大きくなったとき
：総合相談センター・がん相談支援センター
- 10P 患者さんご自身が病気や治療について勉強し、
医療に積極的に参加するために：ラーニングセンター
- 11P 皆さまからの声：医務課
- 12P 第10回ロビー・コンサート：総務課広報担当
紹介・予約制について／面会について：医務課

五常の滝（日高市）写真提供：日高市観光協会

基本理念：患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供をし、かつ最も高度の医療水準を維持する。

使命：当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供する。

基本方針：患者中心主義（patient-oriented）を貫き、あらゆる面で“患者にとって便利”であることを主眼とし、患者ひとりひとりにとって最も適切な医療を提供する。



当センターは、紹介・予約制です。

Saitama Medical University International Medical Center

診療科のご紹介

消化器外科

埼玉医科大学国際医療センターの消化器外科は、消化器病センターとして診療を行っています。それは、消化器系がんの最先端の診断・治療においては、内科とか外科という分類は意味がなく、それぞれの得意技能や知識をもつ消化器専門医が一緒になって、診療を進める必要があるからです。従って、消化器病センターでは、内科医、外科医に限らず、多くの領域のスタッフが関与して、一人一人の患者さんに最も適切な治療方針を決定しています。その中で、手術を得意とする消化器外科医は、内視鏡治療や経皮的治療ができない患者さんに対し、腹腔鏡下手術や通常の開腹術で治療を担当しています。

食道がん、胃がんなどを対象とする上部消化管外科、大腸・直腸・肛門などを対象とする下部消化管外科、肝がん、膵がん、胆管がんを対象とする肝胆膵外科の3つのグループがあります。開院2年目の実績では、食道がん、胃がん、大腸・直腸がん、肝胆膵がんのすべてにおいて、その手術症例数は全国で30位以内に入っています。従って、いずれの領域の外科医も手術経験は豊富です。特に、小さな傷で手

術を行う腹腔鏡下手術が得意であり、大腸・直腸がん手術の60%以上が腹腔鏡で安全に行われています。胃がん、食道がんや肝臓がんなどにおいても胸腔鏡や腹腔鏡下手術を積極的に取り入れています。肝胆膵外科は、難度の高い肝胆膵の手術を安全に行う施設として、全国で100施設ほどしかない高度技能医修練施設Aに認定されています。



診療科のご紹介

腫瘍内科

がん治療の成績向上の重要な要因として、手術などの局所療法を行っても不幸にして再発した患者さんや、最初から手術できない患者さんに対して有効な薬物療法を提供することがあげられています。最近の分子標的薬の登場は、がん薬物療法に新たな時代をもたらしています。腫瘍内科は、肺がん、消化器がん（胃癌、大腸がん、食道がん、膵がんなど）、乳がんをはじめとしたすべての固形がんに対する薬物療法を専門とする診療科です。

当科は、2002年7月に埼玉医科大学病院に新設された臨床腫瘍科を前身としています。当時から、わが国で最初の欧米流のがん薬物療法に特化したグループとして注目を集めました。現在では国立がんセンターや癌研有明病院と並んでわが国でも最も大規模な腫瘍内科の一つとして評価されています。

わが国でがん医療の中心を担っている「がん診療連携拠点病院」に求められている要件の一つとして「抗がん剤治療に関する専門的知識を有する医師」の存在があげられています。当科からはこれまで、日本臨床腫瘍学会の定める「がん薬物療法専門医」の資格を取得した腫瘍内科医を8名送り出しています。

現在、埼玉県内で働いている「がん薬物療法専門医」のほとんどが、当科に在籍したり当科で教育を受けた医師です。また、千葉大学、筑波大学と共同で「がんプロフェッショナル養成コース」と称して、大学院教育の一環として腫瘍内科医の育成を行っています。実地医療では、がん薬物療法だけではなく関連する、緩和医療科および精神腫瘍科と密接な連携の基に全人的ながん医療を目指しています。

一方、新規抗がん剤の開発を中心とした県内では最多の治験を実施しています。特に第I相試験では、国立がんセンターと並んで関東地区における基幹施設の役割を果たしています。

さらに、他院からのセカンド・オピニオンも積極的に受け入れこれまでおよそ300名の患者さんに対応しています。



抗がん剤の副作用とその対策…第1回

薬剤部

【はじめに】1982年に「がん」が死亡率の第1位になって以来、抗がん剤による治療を受ける患者さんの数は増加の一途をたどっています。特に外来抗がん剤治療を受ける患者さんの数は、国の入院医療から在宅医療への流れを受けて急激に増加をしています。抗がん剤治療を順調に遂行するためには、患者さん自身の自己管理も重要です。そこで今回は抗がん剤の副作用についてお話いたします。

【骨髄抑制】一般的に抗がん剤で最も発生しやすい副作用です。本来、悪性腫瘍は、急速な成長をするも

のであり、抗がん剤はこの特性に対して効果を発揮するため、常に増殖する血液細胞には大きな影響が出現します。特に血液の中で、白血球（好中球）が大きく影響を受けます。

（1）白血球（好中球）減少

白血球（好中球）は免疫に関与し、病原菌が体内に侵入した場合に、菌を貪食し感染が拡大しないように働きます。つまり骨髄抑制が発生するとより肺炎など感染を起こしやすい状態に陥ります。

<感染しやすい部位と主な症状>

①口腔	口腔内の発赤、腫れ、痛み、歯の痛み	⑤肛門	肛門周囲の発赤、腫れ、痛み
②上気道	鼻水、のどの腫れ、痛み	⑥尿路	尿の濁り、尿意の増加、排尿時の痛み、残尿感
③肺・気管支	咳、痰（たん）、息苦しさ	⑦皮膚	唇や皮膚の痛み、（水疱）
④消化器	腹痛、下痢、吐き気	⑧その他	38度以上の熱、寒気、震え、頭痛、関節痛



<感染予防対策>

- ①手洗いとうがいの励行
- ②身体を清潔に保つ
- ③口腔内ケア
- ④人ごみや感染のある人との接触を避ける

<骨髄抑制の発現時期の目安>

・白血球は抗がん剤の投与7～14日後に、最低値を迎えるものが多いと言われています。もちろん、抗がん剤の種類、投与量、治療歴（抗がん剤、放射線治療など）の影響により異なります。

（2）血小板：

血小板は、出血を止める役割を持っています。つまり骨髄抑制が発生することにより、血液を構成する一つである血小板が減少し、出血が止まりにくくなります。特に抗がん剤による血小板減少は、非常に大きく発生することもあり十分な注意が必要です。血小板減少の発現時期は抗がん剤の投与10～20日後に、最低値を迎えるものが多いと言われています。

（3）赤血球：

酸素の運搬が主な働きのため、赤血球が減少すると労作時に息苦しさが出現したり、貧血の症状が発生します。赤血球の減少は、抗がん剤によるもの、悪性腫瘍の病態によるもの様々ですが、やはり十分な注意が必要です。



【骨髄抑制時の対応】

- ①白血球（好中球）減少時：薬での対応が可能です。ただし連日の投与が必要な場合があります。
- ②血小板：薬を用いて急激に増加させるものではなく、減少が大きい場合は輸血が必要となります。
- ③赤血球：血小板と同様に輸血が主な対応となります。

フィッシュ哲学で生き活きとした職場を目指そう

看護部

フィッシュ哲学の取り組み

看護部では昨年より、フィッシュ哲学を導入しました。フィッシュ哲学とは、シアトルの魚市場からの発信です。この魚市場は、単に魚を買う人だけではなく、楽しいことやうれしいことを求め見学に来てくれる人達で活気に満ちた、世界的に有名な魚市場です。この話からヒントを得て生まれたのがフィッシュ哲学です。

私たち職員が、生き活きと元気に笑顔で仕事することで、患者さんにとっても癒しとなり、健康回復につながってほしいと願っています。仕事や相手に関心を向け、仕事を楽しみ、どうしたら相手に喜んでもらえるか考え行動することは、接遇の向上や、看護部の理念でもある『良質で満足度の高い看護』につながると考えます。

また、フィッシュ哲学が、病院全体に広がってほしいと考え、他部署の方にも積極的に感謝の気持ちを伝えるよう心がけています。

今年の4月に看護部で、フィッシュ哲学の取り組みについて発表会をおこないました。一部をご紹介します。

活きのいいオフィスへの4つのコツ



仕事を楽しむ（遊び心）

相手を喜ばす

態度を学ぶ

関心を向ける（仕事や相手に）

中央手術部のフィッシュ活動

中央手術部 浜口由美子

中央手術部でも、フィッシュ活動を取り入れて職場の活性化に努めています。スタッフ間のコミュニケーションをよくするために壁新聞を作ったり、フィッシュ哲学を広めるためにポスターを貼ったり（写真1）スタッフの誕生日に寄せ書きのカードを贈るなどを実践しています。

また、職員家族宛に送っている写真付の手紙は家族の方からもとても喜ばれています。手術は患者さんにとっても、その不安は計り知れないと思いますが、働く者にとっても緊張と継続した集中力が必要で、ストレスの高いものであることに違いはありません。そんな状況の中で仕事を楽しく、出来るなら笑顔で充実した時間にするために、そして患者さんに満足度の高い看護を提供できるよう、今後もフィッシュ活動を充実させていきたいと思っています。

写真2は患者さんに手術部の看護師の存在を知っていただくためと、患者さんが安心して手術を受け、無事に回復していくことを祈り、そのために精一杯の努力をすることをお伝えするために、患者さん入り口に張っている手作りのポスターです。幸せの象徴といわれているクローバーの葉を使って、手術部看護師のハート（真心）を表しています。



写真1

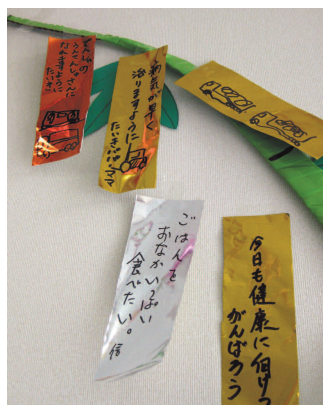


写真2

フィッシュ哲学を取り入れて

E棟6階無菌室病棟です。2年前よりフィッシュ活動を行ってきました。フィッシュとは「楽しむ」「相手を喜ばす」「感謝や尊敬を伝える」という意味合いがあります。

私達は、患者さんが少しでも入院生活を快適にお過ごしいただけるよう、病棟環境を整えることから始めました。春は桜に始まり、今は鬱陶しいこの季節を吹き飛ばすよう色とりどりの紫陽花が飾られ、目を和ませております。7月は毎年恒例の七夕飾りです。患者さん、ご家族様、職員が銘々に願いごとを短冊に託します。「おいしいものが食べたい。」「海外旅行に行きたい。」「元気に退院するぞ。」「今年こそ痩せたい。」など、笑いの渦に包まれます。このように季節のお花や風物に触れ、季節を感じ心が和んでいただけるよう日々考えております。この他にも、患者さんとの勉強会やクリスマス会、クリスマスカードのプレゼントなどもあります。今年は、初めての企画で、患者さんと初日の出を拝みました。たくさんの患者さんと看護師が当科のパノラマビューに集合し、まだかまだかとみんなで待つこと10分、輝かしい初日の出を拝み、全員あけましておめでとうの大合唱で今年度が明けました。みんなが家族のような温かい空間でした。看護師としてこのような新年を迎えられ、本当に幸せを感じ、患者さんが元気に退院できるよう心から願いました。



フィッシュ哲学を取り入れ活き活きと働ける職場

D棟6階病棟は包括的がんセンターの中に位置する呼吸器病センターです。手術・化学療法・放射線療法・緩和治療と多岐にわたり最先端の医療が行われています。スタッフが活気を持ち働く事により、少しでも患者さんが笑顔になればと思いフィッシュ活動を行ってきましたので紹介します。

病院という閉鎖された環境の中で、季節感を感じていただけるように病棟のイベント係が中心となり計画を立て行っています。

春にはお花見の気分を味わって頂けるように桜の花の飾り付けをしました。7月には七夕飾りを行い、患者さんに協力を頂き飾り付けをしたり、願い事を書いたりしました。患者さんの中には、折り紙を久しぶりにやったと笑顔で話され病室に戻っても、折り紙を続けて行う方もいました。



D棟6階 島田 雅子

12月にはクリスマス会を開き、フラメンコのお披露目やハンドベルの演奏、クリスマスソングを皆で歌い、患者さんや家族の方と楽しい時間を過ごしました。また、会に参加出来ない患者さんに対しても、サンタに変装した医師とスタッフで部屋をまわり、手作りのクリスマスカードを配りました。患者さんにも喜んで頂き、カードを大切にしていますと話される方もいました。

患者さんの笑顔をみることで、仕事に楽しみを見出し、看護師自身も活力をもらい、やりがいをもって仕事をする事ができるようになりました。今後も一人一人が笑顔で、活き活きと働ける職場づくりを目指したいと思います。



中央放射線部からお知らせ

中央放射線部

～画像誘導放射線治療について～

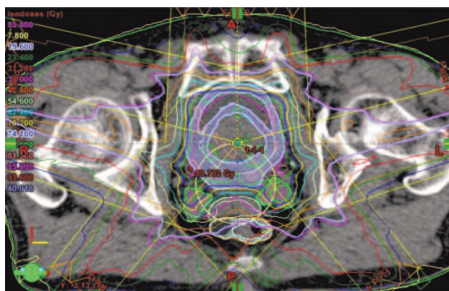
平成22年4月1日に診療報酬が改定され、放射線治療に関連するものとして画像誘導放射線治療加算が新設されました。これは4門以上、又は高精度放射線治療（IMRT）を行う際、患者様の位置情報を自動

で修正した時に加算されます。

施設基準があるのですが当院はこれを満たしており、1日に1回まで算定しています。

IMRTとは…コンピュータを利用して放射線を集中して腫瘍部分のみに照射できる画期的治療法です。これによって、従来法では不可能であった理想的な

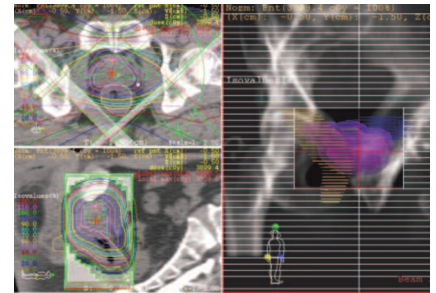
放射線治療が可能になり、腫瘍の制御の向上や合併症の軽減が期待されます。



IMRT

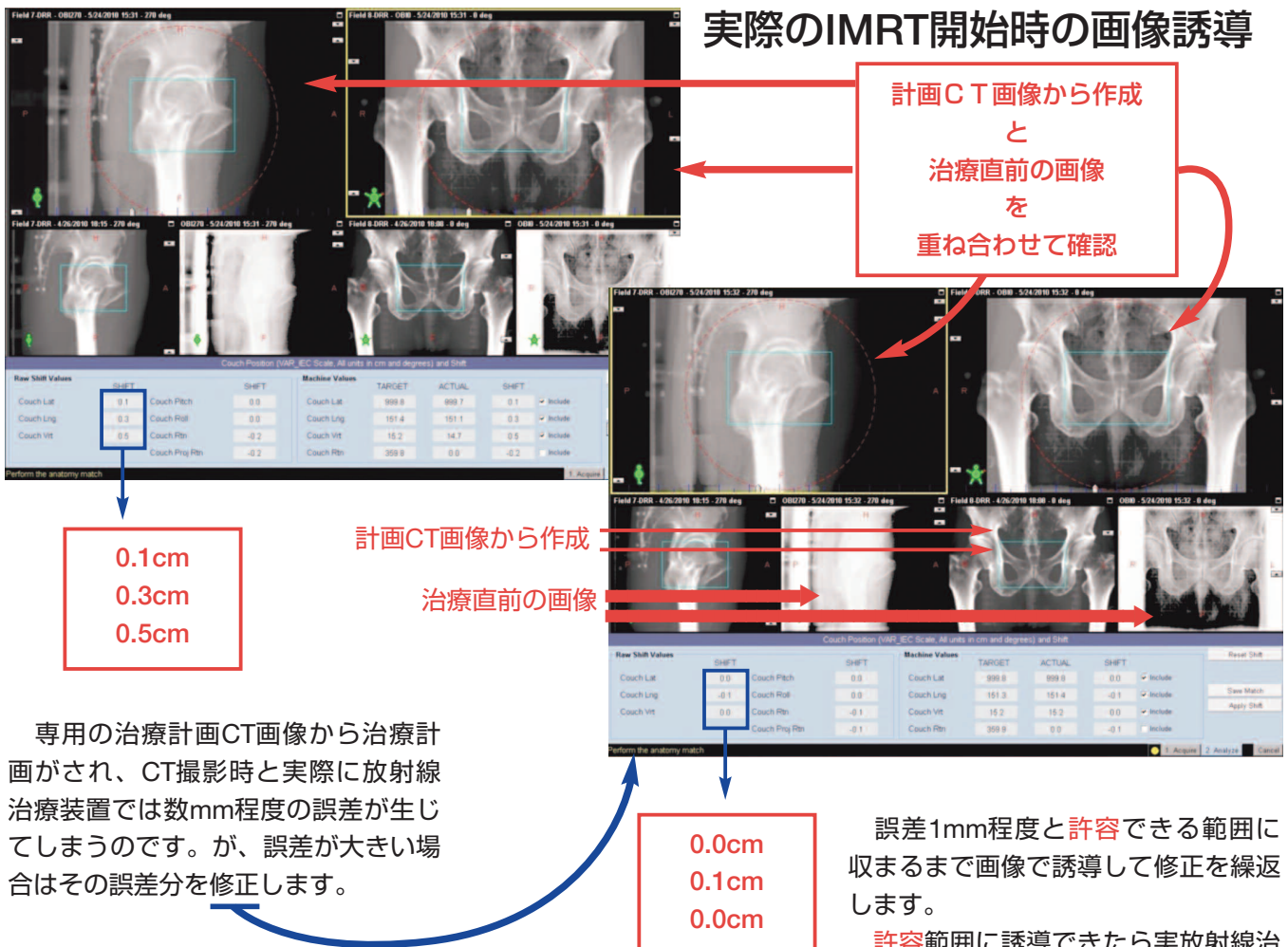
集中させた放射線の分布をコンピュータで作成して治療装置で照射を行います。

4方向以上および運動照射



画像誘導IMRTの時間は30～40分程度ですが、画像誘導多方向からの治療時間は15分程度です。

実際のIMRT開始時の画像誘導



専用の治療計画CT画像から治療計画がされ、CT撮影時と実際に放射線治療装置では数mm程度の誤差が生じてしまうのです。が、誤差が大きい場合はその誤差分を修正します。

このように、常に一定の許容範囲精度を保って放射線治療を行っています。

検査項目について

中央検査部

腫瘍マーカー検査について

癌細胞は誰にでも存在する一般的な蛋白のほかに健康的な人にはあまり存在しない特異的な蛋白をもっていることがあります。腫瘍マーカーはこの特異的な蛋白を調べる検査で、画像診断の補助や治療効果の判定、再発のチェックなどに有用な手段となっています。しかしながら、癌がある程度大きくなるまで陽性を示さないという性格があり、陰性だからといって癌を否定できるものではないため、癌の早期発見には必ずしもつながりません。また、他の要因などで癌以外でも陽性になることがあります。この蛋白は特定の臓器の癌細胞に陽性を示すものと、臓器に対する特異性が低いものがあります。AFPのPはProtein（蛋白質）、CEA、CA19-9、PSAのAは

antigen（抗原）の頭文字で、生成される蛋白質を指します。



検査詳細情報	臨床的意義
癌胎児性抗原（CEA）	胎児の消化器細胞にある蛋白の一種ですが、癌細胞が増殖している組織内からもつくり出されます。消化器系癌のスクリーニング検査として広く用いられますが、臓器特異性は低いので、この検査だけで診断はできません。癌治療後の経過観察、再発や転移の早期発見に重要です。また、喫煙や加齢とともに上昇する傾向があります。
α-フェトプロテイン（AFP）	胎児の血清中にみられる蛋白の一種で、出生後は消失しますが肝細胞癌や卵巣の胚細胞腫瘍（卵黄嚢腫瘍）などで高値を示します。しかし、肝臓癌でも必ずしも増加するとは限らず、肝硬変や肝炎（劇症肝炎や慢性肝炎増悪期）などで上昇することがあります。
PIVKA-II	蛋白の一種で、ビタミンK欠乏の時に肝細胞でつくられる異常プロトロンビンですが、肝細胞癌でも出現することから腫瘍マーカーとして利用されるようになりました。AFP値とは関連関係がないので、AFPと同時に測定することにより、原発性肝臓癌の診断率の向上が望めます。
CA19-9	膵臓癌、胆道癌で80～90%の高い陽性率を示す他、胃癌、大腸癌、肝臓癌では30～60%が基準値を超えます。また、肺癌、乳癌、卵巣癌でも高値を示す他、糖尿病、慢性肝炎、慢性膵炎、胆石症、子宮筋腫などでも陽性となります。しかし、ルイス式血液型陰性者では上昇しません。
CA15-3	乳癌などに特異性があり、乳癌のスクリーニング検査に用いられています。初期ではほとんど陽性を示しませんが、転移性乳癌に陽性率が高く、手術後の経過観察に大変有用な腫瘍マーカーです。その他卵巣癌、肺癌、前立腺癌で上昇し、癌以外では、子宮内膜症、骨盤炎症性疾患、肝炎でも高値を示します。
CA125	卵巣癌、子宮癌に特異な反応を示す腫瘍マーカーです。癌の進行と共に陽性率、測定値ともに上昇するため、治療効果の判定や再発予測の手段としても重要です。ただし、卵巣癌以外の多くの癌でも上昇します。また、妊娠初期や月経時・閉経前などに一過性の上昇がみられます。
前立腺特異抗原（PSA）	前立腺に特異的にみられるマーカーで、癌の進み具合を鋭敏に反映するため、前立腺癌の早期発見とともに病気の推定、治療効果判定や予後予測に用いられています。また、前立腺肥大症でも血中濃度が上昇するため、鑑別が重要となります。

病院の対策シリーズ

医療機器に対する携帯電話の影響

MEサービス部 関口、森田

1. はじめに

医療機器の管理は単に機器が正常に作動することだけでなく、使用環境や運用方法についても安全性をチェックし、総合的に行っています。

携帯電話の使用が医療機器の誤作動を引き起こすことが1995年頃より報告され、当センターにおいても臨床工学技士（医療機器のエキスパート）を中心に医療機器が誤作動を起こさないための取り組みをしています。今回は病院内における携帯電話の取り扱いについてご紹介します。

2. 携帯電話による電磁干渉

電磁干渉は電気機器が電磁波を拾って、内部に余分な電圧（ノイズ）が発生することで起こります。携帯電話近くのラジオから雑音が聞こえるのは、この余分な電圧が音に変換されたためです。医療機器はマイクロプロセッサで制御されているため、このノイズが加わると、医療機器に間違った命令が出され、機器の誤作動が起こります。

誤作動の原因となる電磁波の強さは携帯電話から離れると急激に減少しますが、携帯電話は通話していないときにも電磁波を放射し続けており注意が必要です。

3. 医療機器の誤作動について【Q&A】

① 携帯電話によって植込み型心臓ペースメーカーはどのような影響を受けますか？

多くの実験結果から22cm以上話せば影響を受けないと考えられます。植込み型心臓ペースメーカーを装着した本人でも、ペースメーカーが植え込まれているのと反対側で通話すれば22cm以上の距離が得られます。

② 植込み型心臓ペースメーカー装着中は携帯電話以外でも注意することはありますか？

ペースメーカーやICD（植込み型除細動器）にエックス線が連続的に照射すると影響を及ぼすことがあります。エックス線診断装置やエックス線CT装置などの検査を受ける前に診療放射線技師や担当医にペースメーカーが装着されていることを申し出ましょう。

③ 携帯電話によって補聴器はどのような影響を受けますか？

携帯電話が近接していると補聴器（アナログ式）に雑音が混入することがあります。この際は携帯電話にイヤホン差し込み補聴器から離します。また、デジタルタイプの補聴器に変更することで雑音が入らなくなります。

④ 病院職員が使用している携帯電話のようなものはなんですか？



医療用PHSです。PHSは携帯電話に比べ、出力が小さいため医療機器に影響がありません。病院内のサービス向上や迅速な対応を目的として医師・看護師等の連絡手段に導入されています。なお、携帯電話と区別する為に、医療用PHSには専用ストラップ（緑色）がついています。

4. 当センターの取り組みと使用制限

当センターでは医療機器への影響を考慮し以下の3つの区域を設けました。携帯電話を使用する際は、常にマナーモード（バイブモード）に設定するなど周囲の方の迷惑にならないようにご使用下さい。ご不明な点はお近くのスタッフにお気軽にお尋ね下さい。

① 通話ができる場所



外来：各センターより外の廊下、カフェテラス（スターバックス）、テレサホール

病棟：1人病室、病棟より外の廊下、談話室、食堂

*ただし、医療機器をつけた患者さん1メートル以内は禁止。また、他の患者さんにご迷惑がからないようにして下さい。

② 通話ができない場所



外来：各センターの中（待ち合い等） 病棟：4人病室、病棟内廊下

*待機中はマナーモードにして下さい。メールは可能です。なお、医療機器をつけた患者さんの傍では電源をOFFにして下さい。

③ 携帯電話使用禁止区域



病棟：ICU（集中治療室）

電磁波障害があるため、電源は常時OFFにして下さい。

医療費と介護サービス利用費の負担が大きくなったとき

みなさんは医療費や介護でかかった費用が1年間でどれくらいになったか振り返ったことはありますか？

平成20年4月から『高額医療・高額介護合算療養費制度』が始まりました。これは『医療保険』と『介護保険』の両方を利用して、1年間でかかった費用が高額だった場合、その費用の一部が戻ってくる制度です。なお、所得や年齢によって自己負担限度額は異なります。

この制度は毎年8月1日から翌年7月31日までにかかった費用が対象となりますので、この機会に振り返ってみてはいかがでしょうか？

Q. そもそも「医療保険」と「介護保険」の違いってなに？

A.

「医療保険」とは

保険適用の手術代や抗がん剤の治療費、検査代、お薬代などけがや病気の治療をする時に使うのが医療保険です。医療機関の受付に「健康保険証」を提示することで、医療費の自己負担が3割または1割で済むようになります。また年齢と収入によって1ヶ月の自己負担限度額が決められています。

「介護保険」とは

ホームヘルプサービスの費用、介護用ベッドのレンタル代など加齢や病気のため、介護が必要になった時に利用できるのが介護保険です。お住まいの市町村役場に申請し、要介護認定を受けることで、サービスを1割の自己負担で利用できます。ただし、認定された介護の必要度によって利用できるサービス内容は異なります。また、収入によって1ヶ月の自己負担限度額が決められています。

対象は65歳以上の方、国が定めた特定疾病(※)に該当する40歳以上の方です。

※ 特定疾病の詳しい内容については、お住まいの市町村役場や当院のソーシャルワーカーにご確認ください。

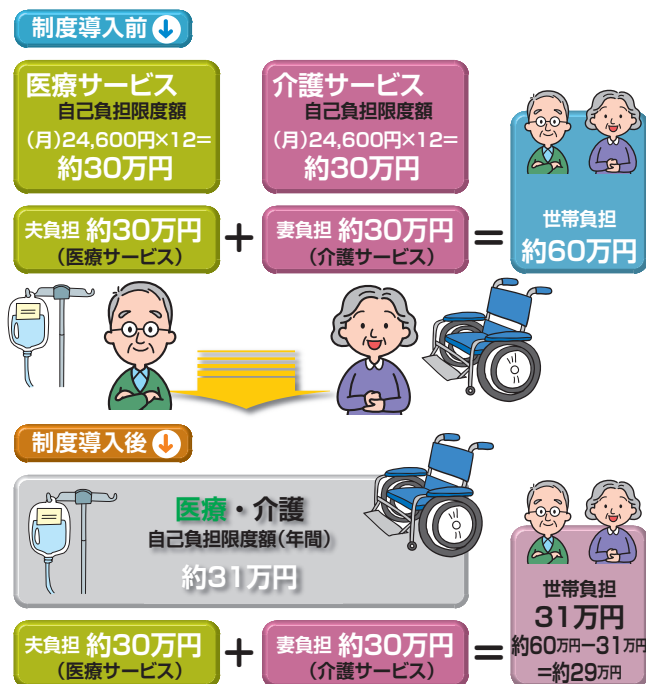
総合相談センター・がん相談支援センター

Q. 実際に「高額医療・高額介護合算療養費制度」を申請するとどうなるの？

A. 例えばAさんご夫婦の場合



・支給例（夫婦ともに75歳以上で市町村民税非課税の方の世帯）



★申請により、差額の約29万円が支給されることとなります。

年間の自己負担限度額は収入や年齢によって異なります。詳しい内容や申請方法については、お住まいの市町村役場や加入している医療保険の窓口、当院のソーシャルワーカーにご相談ください。

【相談室のご利用方法】

◇ 相談日時をご予約下さい。

がんの患者さん、ご家族、地域の方、地域の医療機関や保健・福祉・介護等の関連機関の方

がん相談支援センター：TEL.042-984-4329（直通）

当院の心臓病センター、救命救急センター(脳卒中センターを含む)におかかりの患者さん、ご家族

総合相談センター：TEL.042-984-4106（直通）

◇ お急ぎの場合は直接おいで下さい。

◇ 利用方法や相談室の場所がわからない場合は、医師や看護師、受付のスタッフにお声がけ下さい。

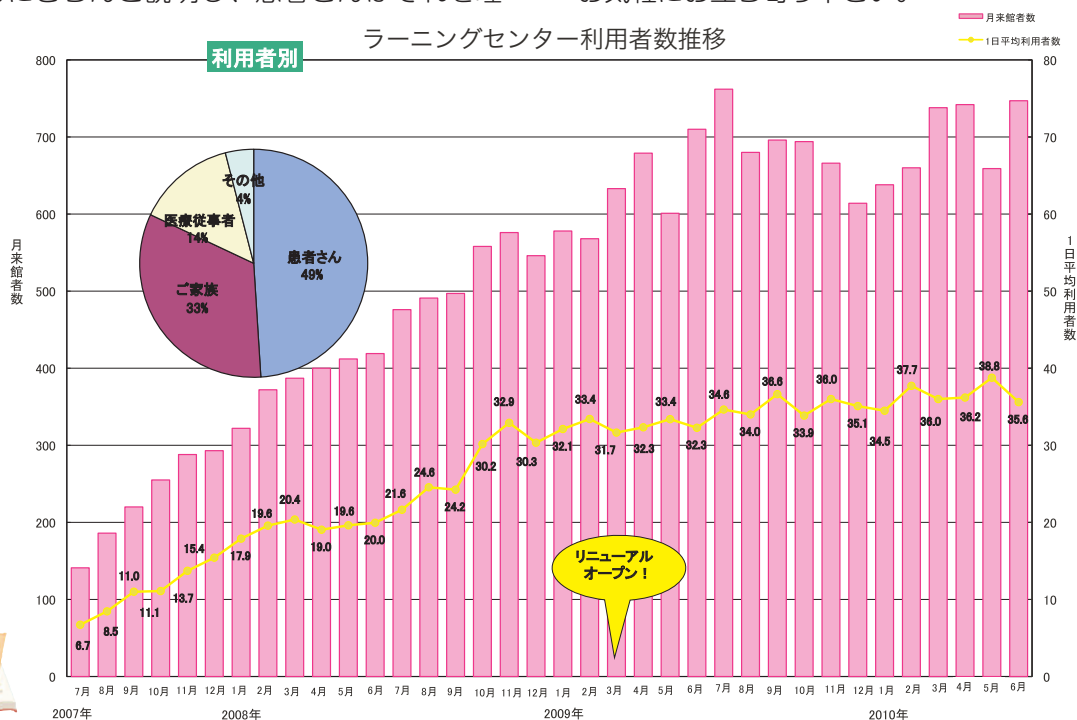
患者さんご自身が病気や治療について勉強し、医療に積極的に参加するために

ラーニングセンター

ラーニングセンター（患者図書室）は、開院時より開設し2009年3月のリニューアルオープン以降も多くの方にご利用頂き、好評を頂いております。病気を克服するためには、医師が病気や治療法について患者さんにきちんと説明し、患者さんはそれを理

解し、納得して、積極的に治療に取り組んでいくことが重要です。ラーニングセンターでは、患者さんご自身が病気や治療法などについて、学び調べ、理解を深めるためのお手伝いをする場所です。どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

ラーニングセンター利用者数推移



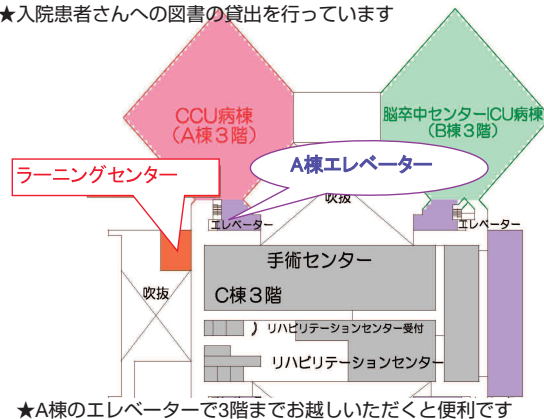
利用者の声

- ◆明るく静かで気持ちよく過ごせました。（外来患者さん）
- ◆ゆとりの時間を求めてまいりましたが、専門書ばかりとは考えていませんでした。さすが病院の図書館と感心しております。（入院患者さん）
- ◆病気の情報を集めるために伺いました。短時間で様々な資料を手に入れることができ、大変助かりました。（入院患者さんご家族）
- ◆病状や生活の注意点、治療法を知りたくて伺いました。沢山のパンフレットは患者でない人にも役立ちます。（入院患者さんご家族）
- ◆術後の食事・治療等を調べにきました。資料を探すのに親切に対応していただきました。利用させていただいて良かったです。（入院患者さん）
- ◆自分の求めている資料が揃っていて有り難かった。入手しにくいものだったので大いに助かりました。（入院患者さん）
- ◆病気を理解するために利用しました。なかなか一般書店では販売されていない本が置いてあって便利です。（入院患者さん）



★図書 約1,500冊 DVD 75点 リーフレット約700種
インターネット端末3台

★入院患者さんへの図書の貸出を行っています



皆さまからの声

医務課

★病室前の面会スペースでの話し声が大きい。

・「病室前につきご面会はお静かにお願い致します。なお談話室、食堂もご利用いただけます。」というプレートを設置させていただきました。

※ご不便をお掛け致しますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

これからも病院機能の向上及び患者サービスに努めてまいります。ご意見ありがとうございました。



消防訓練及び防災訓練を終えて

総務課

今年度、当院では、去る6月24日（木）に消防訓練及び災害訓練を行いました。事業所では、年2回の訓練が義務付けられています。

今年度は、初めて災害訓練を行うこととなりました。当院は、近隣で大規模災害発生時、災害拠点病院の指定をされていると共に、地域の診療拠点となることを求められているため、シュミュレーションも兼ねて行いました。

当日は、大地震の発生により病院内で職員が被災しているとの想定のもと、実施いたしました。

訓練内容は、災害発生の放送から始まり、被災者の救出、応急救護所の設置を行いました。

災害テントは、1基の重量が100kgを超え、その他付属品もあり、また初めて設置するということもあり、多数の職員一丸となって、2基設置しました。

また、被災者の救助には、以前のニュース（第10号）で紹介させて頂いた『災害派遣医療チーム（DMAT）』が主となり、生存確認、救助、担架によ

る搬送を行いました。

ここで少し、『災害派遣医療チーム（DMAT）』の説明をさせていただきますと、当院が災害拠点病院の指定を受けたことにより、厚生労働省主管の研修に参加をし、職員個人として登録を受け、病院内でチーム（医師、看護師、業務調整員の5名）を編成し、国内（主に近隣県）の大規模災害発生時に埼玉県等の要請により、診療支援を行うための医療チームです。また、今年度中には『DMAT指定医療機関』の指定を受ける予定があり、併せて機動救助隊、防災航空隊及びDMATにより編成される『埼玉SMART（特別機動救助隊）』にも登録される予定です。

今回の訓練は滞りなく終わることができましたが、今後も訓練内容の充実をしていきながら、災害が起きないことを願いつつも、災害発生時に迅速な対応がとれる体制づくり、また地域の医療機能の維持ができればと考えております。



美しい音色が響き渡る！

第10回ロビー・コンサート

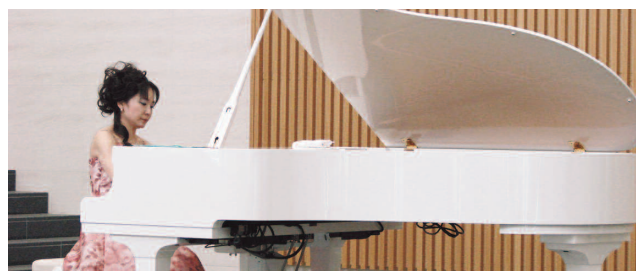
総務課広報担当

今年で10回目を数える病院ロビーコンサートは、去る5月15日（土）午後、上尾市在住のピアニスト・奥村恵美さんにより当センターのエントランスロビーにて開催されました。

昨年に引き続いての「リフレッシュ・コンサート」。今回のテーマは“音楽で繋がる私たちの絆”です。ステージでの演奏（曲名）は

- ①カノン＜パッヘルベル＞
- ②主よ人の望みの喜びよ＜バッハ＞
- ③エリーゼのために＜ベートーヴェン＞
- ④トルコ行進曲＜モーツァルト＞
- ⑤幻想即興曲＜ショパン＞
- ⑥ル・ローヌ（服部克久）
- ⑦川の流れるように ＜見岳章＞
- ⑧ノクターン第20番＜ショパン＞
- ⑨愛の夢＜リスト＞

の全9曲でした。



奥村さんは常日頃から、より多くの方に音楽を楽しんでいただけるよう病院や福祉施設などでボランティアコンサートを企画し、癒しの場を広めたいと考えているようです。

会場には患者さんやそのご家族など約150名が訪れ、正面ロビーに設けられた特設席ではリズムに併せての鑑賞と目を閉じてクラシックに酔いしれている人もおり、2階のラウンジ席ではコーヒーを召し上がりながら、一家団欒と思えるご家族が優雅なひとときを楽しんでいるようでした。

紹介・予約制について

医務課

当センターは紹介・予約制です

- ①紹介状
- ②事前の予約
が必要です

【外来予約センター】

心臓病・脳卒中センター

☎042-984-0474

包括的がんセンター

☎042-984-0475

通院治療センター

☎042-984-0475

面会について

医務課

【面会時間】

（平日） 午後 1時 ～ 午後8時

（土・日・祭日） 午前11時 ～ 午後8時

上記時間以外のご面会はお断りしております。

【面会受付】

C棟1階総合コンシェルジュにて受付をし、面会証をお受け取り下さい。

- * ICU集中治療室等は、面会時間が別に指定されておりますのでご確認ください。
- * アレルギーや香りに敏感な患者さんもいらっしゃいますので、お花はご遠慮下さい。
- * 小学生以下（12歳未満）のお子様の面会にご遠慮いただいております。



表紙写真：「五常の滝」

日高市を代表する滝です。五常とは、人として常に守るべき道徳の「仁・義・礼・智・信」のことをいい、いつのころからか五常の滝と呼ばれるようになりました。あたりはさわやかな木立に囲まれ、落差は約12mあります。また、滝壺には滝不動尊が祀られていて、地元の人びとの信仰を集めています。

埼玉医科大学国際医療センターニュース

August 2010 第14号【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター総務課

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

TEL：042-984-4128

FAX：042-984-0432

発行責任者 松谷 雅生

発行日 平成22年8月20日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。